

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
福崎町	①自立支援・介護予防・重度化防止	・利用者の自立意識の向上を図るためには、支援者であるケアマネジャーが自立に向けての正しい認識を持ち、支援計画作成に取り組む必要がある。 ・高齢化率の伸び、認知症の増加等により、介護予防事業や支え合い体制など地域での取組体制の確立が必要である。	○多職種によるケアマネジメント支援(自立支援会議の開催) ○地域支え合い会議個別検討 ○地域介護予防事業(地域ふくろうの会)の普及	○多職種によるケアマネジメント支援 : 36件 ○地域支え合い会議個別検討 : 10件 ○地域ふくろうの会実人員:850人	○多職種によるケアマネジメント支援 : 23件 ○地域支え合い会議個別検討 : 2件 ○地域ふくろうの会実人員:734人	○	・ケアマネジメント支援から地域課題の抽出ができるよう参加者のスキルアップを図り、自立支援に向けての施策が講じられるよう努めたい。 ・地域介護予防事業参加者が更に高齢化する中、担い手の就労期間が伸びており、地域での支援者の減少が考えられる。通いの場の充実について生活支援協議体等で検討
福崎町	②給付適正化	給付適正化主要5事業に取り組んでいるが、効果的に実施できていない。	○ケアプラン点検 ○住宅改修前後の訪問調査 ○縦覧点検・医療情報との突合 ○事業所の実地指導	○ケアプラン点検 : 2事業所 ○住宅改修前後の訪問調査 : 8件 ○縦覧点検・医療情報との突合 : 320件 ○事業所の実地指導 : 20件	○ケアプラン点検 : 2事業所(3例) ○住宅改修前後の訪問調査 : 0件 ○縦覧点検・医療情報との突合 : 320件 ○事業所の実地指導 : 9件	○	国保連から提供される帳票や実地指導の機会を活用し、横断的で効率的な点検ができるようにしたい。